

アリモドキゾウムシとは

【分布】

東南アジア、アフリカ、北アメリカ、中南米、オーストラリア等（我が国では奄美諸島、沖縄諸島、小笠原諸島等）

【寄主植物】

アサガオ属植物、サツマイモ属植物、ヒルガオ属植物等

【形態・生態】

成虫は体長約6.5mm、幅約2.0mm。本種は年間を通じイモの中に卵から成虫まで各ステージのものがみられる。

【被害】

幼虫が塊根内に食入し孔道を作る。被害がひどいと塊根内部全体が孔道になり、黒変して悪臭を放ち、苦みを増し、収穫が困難となる。



図1 アリモドキゾウムシ（成虫）



図2 アリモドキゾウムシ（幼虫）